

DTIは森川さん、永井さんの解雇を撤回せよ!

IDTechは森川さん、永井さんの転籍を認めよ!

IBMは社員の雇用と職場に責任を持て!

か い な

号 外

(2004年06月18日)

JMIU日本IBM支部

野洲分会

責任者 北川定

- ・IBMに帰任した社員に、本人の希望を尊重したまともな職場を提示せよ。
- ・YSC、日立GSTへの「移籍」をIBMからの出向に戻せ。

意見は、組合ホームページ : <http://www.bekkoame.ne.jp/i/jmiu-ibm>

組合e-mail : jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp までお寄せください

労働相談一般は、滋賀県労働組合総連合

(Tel.077-521-2536 Fax.077-521-2534 e-mail : kenroren@mb1.kisweb.ne.jp)

道理のない解雇は無効!ただちに

永井さん、森川さんを職場に戻せ

IBMの100%子会社の一つでIBM野洲事業所内にある、液晶ディスプレイ製造・販売のdti社(ディスプレイ・テクノロジー株式会社、本社:滋賀県野洲郡野洲町市三宅800)の社員である永井さん、森川さんの2人が、4月30日の団交の場で解雇を通知されました。2人の出向先であり、同じ場所にあるIDTech社(インターナショナル・ディスプレイテクノロジー株式会社。出資比率:IBM15% 台湾CMO85%)を支援する役割が終わりIDTechが独自に自立していきたい意向を示した等の理由で、2月に会社清算を発表しましたがdti社は赤字でもないのに、この会社解散には道理がありません。

そもそも、dtiの約400名の社員は、永井さん、森川さんも含め、ほぼ全員が出向でIDTechで勤務していました。したがってdtiが会社清算するのであれば、IDTechが雇用を引き継ぐのが常識的な措置です。しかし、IDTechは採用枠を300名とし、しかも、あらかじめ指名していました。永井さ

ん、森川さんも含め「枠外」とされた100名余のdti社員のなかには、IDTechへの転籍を希望していた人も多くいたと思われます。300名の「枠内」からも100名以上の転籍辞退者でたのにもかかわらず、IDTechは、「枠外」からは数名を採用したにすぎません。IDTechは、不足する人員を派遣労働者やアルバイトで補おうとしており、新聞折込広告でも、あきらかにIDTech向けとわかる募集が頻繁に出ています。

ディスプレイ・テクノロジーは

解雇の即時撤回を!

なんと200名以上のdti社員が「希望」退職で会社を去っていきました。永井さん、森川さんは、このような形での解雇は承服できない、dti、IDTechは転籍を認めよ、また、親会社としてのIBMは子会社であるdti、IDTechが雇用責任を果たすよう指導せよ、あるいはIBM自体が雇用責任を持て、と要求しています。

皆さん、IBMの各事業所では、1992年のリストラ開始以来、IBMおよびその関連会社では様々な攻撃がありましたが、生首を

飛ばすということは今回が初めてです。今回、解雇を強行したことは、IBMのリストラが新たな段階に達したことを示しています。IBM大歳社長が言うように、日本の人事制度変更の毒見役を自認しています。複数の子会社を使ったこのような解雇を認めるならば、同様の解雇がIBMやその関連会社でもやられるであろうことは、充分予測されることです。それがまた、日本中に拡大していくであろうことも予想されます。その意味で、今回の解雇撤回闘争はきわめて重要な意義をもつものであると私たちは考えています。

IBMは誠意を持って団体交渉に臨め！

第二スペシャルプロジェクト(以降SP2)のメンバーの内、長い人では1年6ヶ月もの長期に渡り適切な仕事を与えられていないため、機会有るごとに新しい職場の確保を所属長に要求しています。

これとは別に会社は、6月11日の中央団交に合わせたかのように、急遽5月31日にIBM野洲事業所長による『現状の求人情報について』の説明会を行い、「日本IBM及び、IBM関連会社には貴方達に対する仕事は無い、今後はIBM社外での仕事を各人の経験と照らし合わせながら社外出向をしてもらう」と発言。前回同様、考える時間を充分与えず、組合員2名に6月9日にN社への社外出向と6月10日までの回答期限付きの社外求人案内を提示してきました。このやり方は我々が欲しているIBM社内での就業希望とかけ離れており、メイテック人材派遣会社への長期出張・出向を急遽命じたやり方と何ら変わっていません。会社は事を自問し誠実に対応すべきです。

6月11日の中央団体での、会社側の余りにも事務的で無機質な返答には正直落胆しました。私達の長期に亘る職場確保の

正当な要求に対する会社側回答は毎月1件の求人募集のみを団交の席で紹介したものの、その条件は従来の求人の中でも最もハードルの高い部類に属するものでした。

Industry Client向けの設計・開発の出来るProject Managerクラスの人で、且つ、TOEIC 800点以上の諸条件付きです。これでは何時まで経っても私達の職場確保が困難との印象が拭えません。

また、以前に野洲計画管理部門から1名の求人募集があり5名の課員が応募しましたがその条件(求人募集条件である日商簿記2級以上と経理業務経験2年以上)を満たした者がいるにもかかわらず会社は1ヶ月も採用を保留した挙句、英語の語学力の追加条件を新に持ち出して採用を拒否しました。団交の席上この件についても会社に抗議をしましたが、会社からは納得のいく説明は無く、他人ごとのように考えているとしか思えません。

昨今では、企業に対する世間の目も厳しくなり、時代の趨勢で企業の社会的責任が問われます。然るに、今、日本IBMが行っている所行は、社会からの理解を得られないことは一目瞭然です。本来、団体交渉は労働組合と会社が種々の問題点について真摯に協議する場であり、前向きな労使関係を築く場でもあります。会社はこの趣旨を充分に汲んで、再度、団体交渉の席につくべきです。

組合掲示板について

健康管理室前(1号ビル2階社員ルーム前)に組合掲示板が設置され、組合情報を掲示しています。